

## JA共済から 高規格救急自動車の寄贈

～ 新年から運行開始しています ～

12月27日、秋田しんせい農業協同組合から市消防本部へ、高規格救急自動車1台が寄贈されました。これは全国共済農業協同組合連合会の「地域の安全・安心プロジェクト事業」によるもので、「交通事故のない安全な地域づくりや安心して暮らせる地域社会づくり」のための交通事故対策や救急医療体制の確保を推進する一助として、高規格救急自動車7台が、平成22年度から24年度までに県内の消防本部に寄贈されています。

この日、秋田県庁で行われた贈呈式では、同組合畠山組合長から市消防本部・阿曾消防長へレプリカキーが渡されました。

消防本部では消防署へ配備し、年明けより運行しています。



充実装備の高規格車両



## 温かい、暖かい贈り物

～ 避難者からベストなど寄贈 ～

12月末、東日本大震災のため本市へ避難している作山好さん（福島県広野町出身）からフェザー（羽毛）のベストが124着、寄贈されました。市内に住む避難者や老人福祉施設、社会福祉協議会、食料等を避難者に提供している百彩館などへ配布されています。

「にかほ市の皆さんには、3月から大変お世話になっている。第2のふるさとと思うにかほ市へ、何かお返しをしたかった」と言う作山さん。このほか、よく利用するというスマイルの浴場にも、バスマットを贈ってくれました。心温まるクリスマスプレゼントでした。



暖かそうなベスト



## 震災を踏まえ、備えを強化

～ 災害協定締結（旭物産㈱・㈱山二） ～

11月、にかほ市と旭物産㈱（室沢：佐々木郁夫代表取締役）、㈱山二（秋田市：西村紀一郎代表取締役社長）の2社が、災害時等における石油類燃料の供給に関する協定を締結しました。災害時に、緊急車両や非常用発電機、避難所などに必要な燃料確保の協力が得られます。

平成21年に㈱三共サービスと締結したものに続き3件目。大震災を踏まえ、燃料の生産・物流に影響が出て、行政サービスの低下を最小限にし、市民の安全を守る協定です。

（秋田県では「日本一高齢者が元氣な秋田」を目指し県民運動を推進しています。その一環で、「社会を支える担い手の一員」として高齢者の手本というべき100人を表彰するものです）



細田さん（右）は地域婦人団体連絡協議会長として、須田さん（左）は交通安全協会や青少年育成市民会議の会長としての活動が評価され、表彰されました。

・細田武子さん（岡の谷地1区）  
・須田壽夫さん（関）

はつらつ高齢者輝き100選

## 自分で作った凧に大満足！

～ 親子ふれあい体験教室 ～

12月25日、金浦公民館で親子ふれあい体験教室が行われ、参加した18名の親子が凧作りとお手玉作りに挑戦しました。

凧作りでは、三森凧の会の方々から教わりながら、色塗り、骨の貼付け、糸付けなどを行い1時間半程で完成。早速、屋外での凧揚げとなりましたが、雪と強風のあいにくの天候でなかなか揚がらず、体育館に移動となりました。それでも、走って凧が揚がると歓声が上がり、元気に体育館を何周も走る子どもたちの姿が見られ、自作した凧に大満足の様子でした。



▲早速、凧揚げ！  
◀好きな色で自由に色塗り

## 穏やかな年明け

～ 穏やかな元日「初詣で」「酒飲み占い」 ～

大晦日の鐘の音が厳かに響き、新しい年を迎えた1月1日、初詣でに神社を訪れる人々の姿が見られました。雪も止んだ穏やかな元旦に、家族や友だち連れ、それぞれが、新しい年に思いを込めて参拝した後は、清々しい表情で社殿を後にしていました。

昼前には諏訪神社（関）で酒飲み占いが行われました。3地区に分かれ、それぞれの代表2名、計6名が大豊作を願い、大杯に注がれた日本酒を飲み干しました。飲みっぷりが見事な順に「大豊作」「豊作」「平年並み」。「平年並みが一番いいんだぞ」との声も聞かれました。



▶「合格しますように」（七高神社元旦祭）



◀なみなみと注がれ苦笑い（酒飲み占い・諏訪神社）

## 安全・安心な地域づくりに向けて

～ 交通指導隊・防犯指導隊初出式 ～

1月6日、スマイルで交通指導隊・防犯指導隊初出式が行われ、交通指導隊22名、防犯指導隊15名を含め、関係者、来賓など53名が出席しました。

式典では、退任感謝状と優良隊員感謝状の贈呈、各隊長による人員報告と市長らによる通常点検などが行われました。市長は「365日死亡事故ゼロを目指しご尽力いただきたい。また防犯パトロールなど、市民の防犯意識の高揚に努めてほしい」と訓示。各隊長が力強く宣誓し、安全で安心な住み良いまちづくりに向け、気持ちを新たにしていました。



通常点検のようす（交通指導隊）